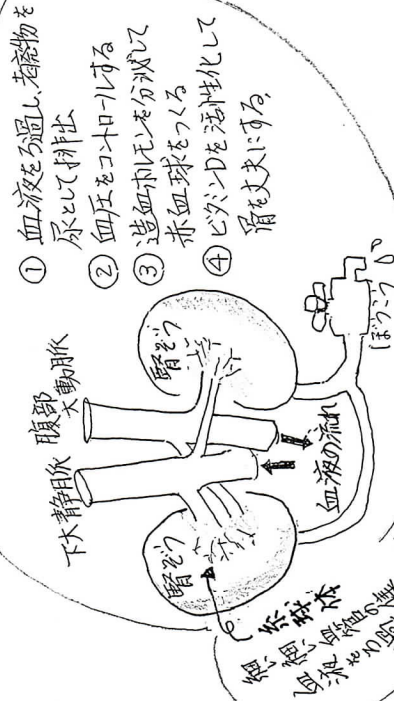


# 不安な時代を元気に生きるヒント



## 健康寿命を延ばす 肝心の肝臓

### 腎臓編

人生100年時代になる中、健康寿命を全うするには体内の各臓器の状態を健全に保つことが大切です。特に腎臓は機能が低下すれば広い範囲に悪影響を及ぼします。さらに新型コロナウイルス感染症の重症化、死亡リスクを最も高める持病が腎臓病であるとのデータも示されています。

最近の研究で、腎臓と心臓の動きには密接なつながりがあることが明らかになっています。腎臓病の悪化は心筋梗塞などのリスクを高めるのです。腎臓は血液中の不純物を取り除き、尿として排出しますが、腎臓内部の細い血管が詰まりやすくなると、腎機能をさらに低下させます。

腎機能低下が進行すると…

- 心筋梗塞や脳梗塞など命にかかわる病気のリスクにか
- 新型コロナウイルスに感染し重症化した場合死亡のリスクも上昇

\* 高齢者は腎機能を悪化させる脱水にもなりやすいので、水分摂取も心がけて生活を！

### 天然の抗酸化物質

#### 細胞まで届ける特殊製法



丹羽耕三博士

「病氣は自分で治すもの」より抜粋

# 精神の安定が健康を守る科学的根拠

## 丹羽免疫療法の本『三位一体論』(図1)

寝不足・過労・ストレスを避けることは、結構ちゃんとした科学的根拠があるのです。人を含む動物には脳のほぼ中央に脳下垂体視床下部というところがあり、心臓、腸、血管、各臓器など身体に必要に応じてそのつど「それ、動きなさい。それ、止まちなさい」と命令、指令伝達をしています。

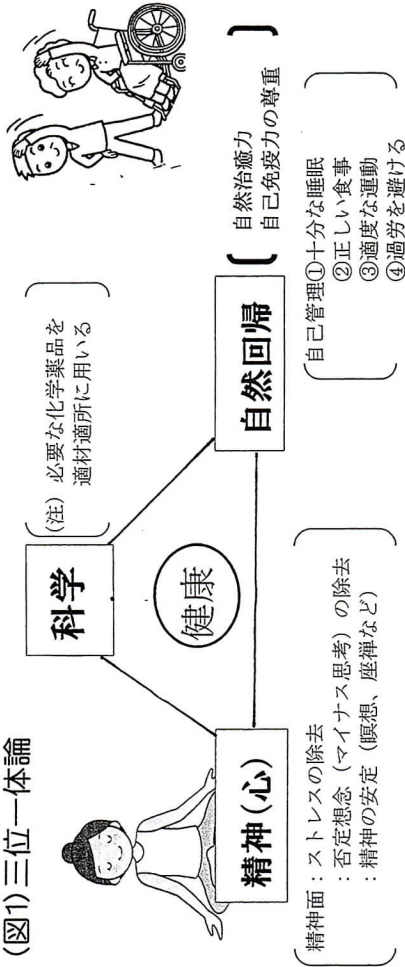
ところが寝不足、過労、ストレスに陥りますとこの命令伝達機能が低下し、その結果様々な身体の不調を訴えるようになります。さらにストレスに加えてマイナス思考(物事を悪い方向ばかりに考えると、さらに命令伝達機能を鈍らせます。ひいては、全身のホルモンの分泌、自律神経系の命令系統も低下させ全身の代謝障害を招き、血液のアチドーシス(酸性化)をもたらし、こうした弊害は、ばい菌やウイルスに対する攻撃力を持つ白血球、リンパ球の力を落とし、天然発病の原因、病気の憎悪の原因となります。しかし「ストレスを感じるな」「プラス思考で…」と言われても人間は弱いものでなかなかそう上手くいくものではありません。

そこで私は、本当に正しい宗教で、すべてを神仏に委ねて精神の安定をはかるとは、非科学的なことではなく、視床下部からの指令伝達が、強化、正常化されることから、健康維持のため瞑想や座禅も大いに結構と、おすすめしています。

丹羽耕三博士著

「薬で病氣は治らない」より

(図1) 三位一体論



### 丹羽免疫療法「健康講演会」4・5月日程 (全日13:15~15:30)

【東北地区】

5月11日(火) 18日(水) 岩手県民会館 第3会議室

5月13日(木) 多賀城市文化センター 第2会議室

【関東地区】

4月11日(木) ぶじみ野市産業文化センター 第2会議室

4月12日(金) 13日(土) ウエスタ川越 第1会議室

5月18日(火) ウエスタ川越 第1会議室

5月21日(金) 茨山市民会館 第3会議室

6月18日(金) 狭山市民会館 第3会議室

<申し込み・お問い合わせ>  
090-9747-3610  
三浦かずえ

「皆様大切なご親族、ご友人に「丹羽療法をお伝えたいが、どう説明したらよいか…」と、思案なさっている方も出張セミナー致しますので是非、ご相談下さい！」